

4月30日、10時30分

全乗務員の長緩気笛一声行動を

故平野運転士虐殺抗議・追悼—運転保安確立

局長を団交に引出し、謝罪と運転保安対策強化を約束させる

三月三十日、外房線・細代踏切において、二四六M列車とコンクリートミキサー車が激突し、平野運転士（勝浦支部）が殉職するという痛ましい事故が発生しました。

これは、「細代踏切は危険だ」とする動労千葉の再三にわたる申し入れを無視しつづけた当局の怠慢による結果であり、営利優先—運転保安無視の合理化政策によって起こるべくして起きた事故であります。

動労千葉は直ちに抗議闘争に立ち上がり、全乗務員の喪着着用闘争をはじめ、管内全線区の危険箇所徐行の安全闘争に突入しました。

こうした闘いを背景に、四月九日の団体交渉には局長自らが出席し、
① 乗務員の立場からの運転保安確立要求を、当局がとりあげなかったことを反省する。
② 今後、具体的に実績をもって示せる形で「踏切対策委員会」などをつくり、運転保安の施策を強め実行する。

さらに、その後の交渉の中で、局長表明を具体化する第一歩として、当該・細代踏切の第一種化について、①五月十八日使用用途に、さらに工事を早めるよう可能な限り努力する。②それまでの間、当該踏切を含む45K/Hの徐行を行う、ことを確認しました。

運転保安闘争を恒常的に闘おう

政府・自民党、中曽根内閣の臨調・行革を背景とした「国鉄」攻撃は、合理化、職場規律の強行攻撃として労働者をしめあげ、全国的に物もいえない職場が生まれつつあります。

60年三池の闘いが敗北し、炭労の分裂—弱体化により、合理化を許した結果が、今日、夕張や三池で計一七六名の仲間の虐殺を許してしまおうという状況を今こそ教訓化しなければなりません。

動労千葉は、船橋事故で高石運転士を守った反合・運転保安闘争を継承し、線路問題で速度規制をかちとるなど、運転保安闘争で大きな評価を得てきました。にもかかわらず、平野君の殉職というかけがえのない仲間の生命を失わせしめたことを痛苦の念をもってうけとめなければなりません。

平野君の殉職事故は、動労千葉に運転保安闘争の重要性について警鐘を乱打したものであり、平野君の犠牲を無にしないためにも「3・30を忘れるな」を合言葉に、反合・運転保安闘争を恒常的に闘いぬかねばなりません。

四月三十日、十時三十分 全乗務員が長緩気笛一声を

動労千葉は、平野君殉職に抗議する闘いを動乗勤改善阻止の闘いと結合して闘ってきました。まさに、動乗勤改善攻撃の本質こそ運転保安の確立にあります。

国鉄労働運動が何ひとつ闘いえない状況に加え、動労「本部」革マルが当局と結託し、労働者を売り渡す役割を果たすという否定的状況の中で、動労千葉の運転保安闘争は極めて大きな意義をもっています。

いま、3・25三里塚に参加した数百の国鉄労働者は、「動労千葉につづけば物もいえない状況を打開できる」との確信をもって闘いを進めており、運転保安闘争のさらなる強化・発展をかちとっていかうではありませんか。

四月三十日、十時三十分、動労千葉は平野君の殉職に抗議し、悲しむべき事故を再び起こさせない決意をこめて、乗務中の全組合員が長緩気笛一声の気笛吹鳴行動を実施します。

労働者の怒りと闘う決意を示そうではありませんか。

臨調・行革 粉碎！ 三里塚ジェット闘争勝利！



悲しみを怒りにかえ、闘いへの決意を表明する 藤本勝浦支部乗務員会長（左）平野君追悼集会

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！